

名前や容姿で判断しない

本人確認書類の提出を受けたときなどに、写真や記載されている性別、氏名と、本人の服装や容姿などから受ける印象により本人かどうか確信が持てないときは、生年月日や住所など、他の方法で確認するといった工夫を試みましょう。

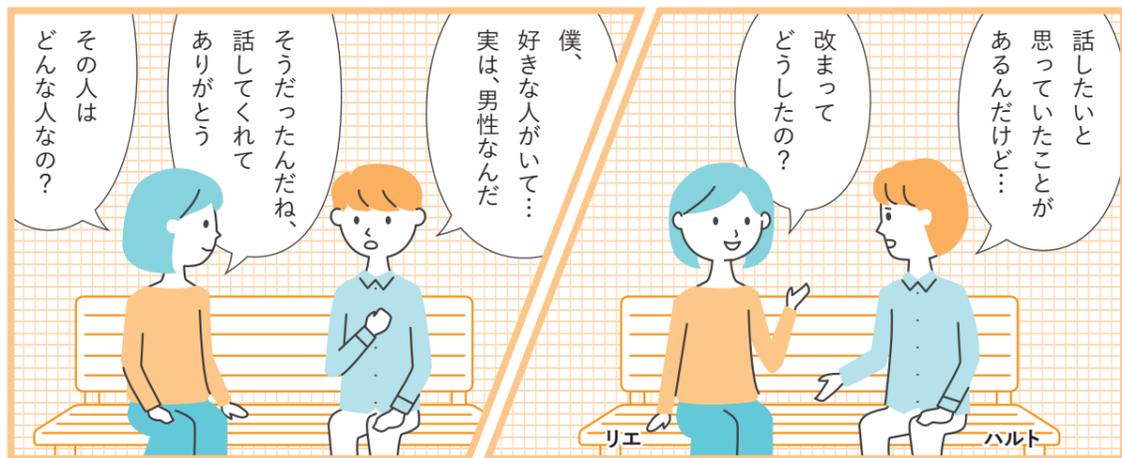
！ LGBTフレンドリー指標制度

市では性的マイノリティに関する企業での取り組みを進めることを目的として、当事者の方が利用しやすいサービスや、同性パートナーへの福利厚生があるといった取り組みをしている企業を、LGBTフレンドリー企業として61社登録・公表しています(8/19現在)。



札幌 フレンドリー指標 [検索](#)

窓口など公の場で



相手の話を受け止める

自分の性の在り方を打ち明けることを「カミングアウト」といい、いつ誰に話すかは、本人が決めること。カミングアウトをしない自由もあり、周囲から促されるものでもありません。打ち明けられたときには、最後までしっかり聞くことが大切です。また、本人の許可なく第三者に話すことは「アウトティング」といい、相手をひどく傷つけ、追い詰めてしまう許されない行為です。絶対にやめましょう。

！ 理解して支える人になる

LGBTQの方たちを理解し、支援する人を「ALLY(アライ)」と呼びます。知識を身に付けることはその第一歩。自分の言動が相手にどう影響を与えるか想像して試みるのが大切です。まずはご自身のできることから始めてみましょう。

打ち明けられたら

こんな場面に出会ったことはありませんか？

LGBTQの多くの方は、さまざまな悩みを抱え、困難に直面しています。悪意がない無意識の言葉でも、意図しない形で誰かを傷つけ、つらい思いをさせているかもしれません。



多様性を認める表現を

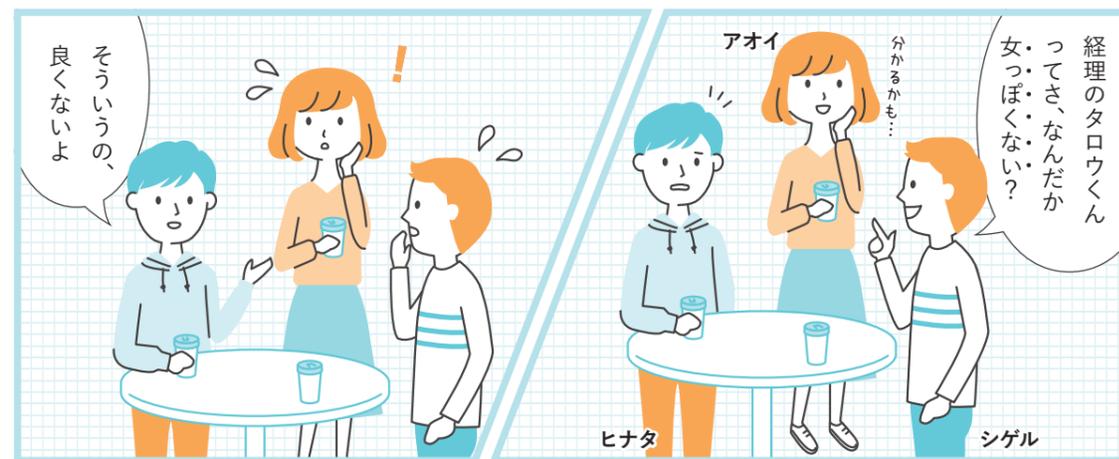
恋愛対象は異性だけとは限りません。女性の恋人は「彼氏」、男性の恋人は「彼女」と想定されがちですが、「恋人」や「パートナー」など性別にとらわれない表現を覚えておきましょう。

！ 性別を限定しない言葉を使う

お互い納得している場合を除いて、状況により性別を限定しない言葉遣いも大切です。

言い換え ・男らしい、女らしい → ●●さんらしい
の例 ・息子さん、娘さん → お子さん

友人や同僚と



差別的な言動には同調しない

学校や職場など、日常生活における差別的な言動は、向けられている本人はもちろん、周囲の人も傷つけている可能性があります。みんなと一緒に笑わない、話題を変えるなどの対応のほか、時には良くないと指摘することも必要です。

！ 性別を笑いの対象にしない

自分と他人の違いは、差別や笑いの対象とするものではなく、互いに認め合うものです。

良くない例 ・同性同士で仲が良いことを冷やかす
 ・「こっち系？」「オネエっぽい」とからかう

学校や職場で